

# 広島広域都市圏地域貢献人材育成支援事業

<圏域内の市町が抱える地域課題や大学等に期待する取組>

区分	テーマ	地域課題の概要
①生活交通の維持・確保	住民の移動手段の確保	・利用者数の減少や交通事業者の担い手不足により、公共交通の減便や廃止が進むことが懸念されている。

市町名	市町の地域課題・取組	大学等に期待する取組
呉市	公共交通の利用者数については、コロナ禍前の状況まで回復が見込まれていない中、物価高騰等による費用の増加により、市の財政負担は増加傾向にある。	市の財政負担を抑制しつつ、住民の移動手段の確保を図る方策を検討していただきたい。
東広島市	公共交通利用者の減少や交通の担い手不足による公共交通の衰退が懸念されている。	地域住民の移動手段確保に向けた持続可能な仕組みや取組みについて検討していただきたい。
安芸高田市	利用者及び交通事業者の担い手不足が生じており、自治体の財政負担も増加している。	市内における公共交通の利用実態を調査し、現在の運行系統が市の実状に見合うものとなっているのかを整理した上で、解決へ向けた取組を検討していただきたい。
江田島市	本市においても、利用者数の減少に伴う自治体の財政負担の増加、交通事業者の担い手不足の課題がある。	地域住民の移動手段の確保について、地元自治会等に対する効果的な周知方法を検討していただきたい。
熊野町	免許返納等により、日常生活の移動手段がなくなることで、買い物や通院といった日常生活に困る高齢者、外出機会が減少し、閉じこもり傾向となる高齢者が増えている。	免許返納後の高齢者の移動手段の確保につながる取組について検討していただきたい。
坂町	町内循環バスについては、効率化による自治体への負担の抑制を考慮しながら、町民・企業のニーズに対応し、利便性の充実に重点を置いた見直しを行い、事業を継続することが求められている。	利便性と利用者満足度を向上するとともに、地域への関心の向上等により、乗降者数の増加を図る方策を検討していただきたい。
世羅町	公共交通利用者（主に高齢者）の減少が続き、自家用車の利用が多い状況であり、公共交通への利用転換が図れておらず、公共交通利用者の減少に歯止めがかからない。	運転免許証の自主返納の促進など、自家用車の利用から公共交通の利用への転換を促進する方策を提案していただきたい。
岩国市	岩国市では、マイカーを基本とした生活スタイルの定着や人口減少などで公共交通機関の利用者は減少している。また、バス、タクシーなどの運転士の不足により、バスダイヤの減便やタクシー配車ができないといった状況になっている。市としては、こうした課題に向け、運転免許費用の助成などを行うこととしている。	公共交通は交通弱者にとってなくてはならない移動手段であるため、学生たちには、今後における効率的かつ効果的で持続可能な仕組みづくりについて検討していただきたい。
柳井市	路線バス廃止区間への乗合タクシーの運営を地区社会福祉協議会が実施し、市は補助を行っている。各地区での乗合タクシーの運行は増加しているが、今後人口が減少する中で利用者数を維持する取り組みが求められる。	交通事業者の担い手不足の解消に向けた取組を検討していただきたい。
周防大島町	免許返納後の高齢者の移動手段の確保について懸念している。	利用者数の減少による自治体の財政負担が増加する中、高齢者の移動手段を確保した公共交通の再編について検討していただきたい。

市町名	市町の地域課題・取組	大学等に期待する取組
上関町	65歳以上の住民を対象に、民間バスの指定区間利用時の費用負担を軽減する福祉優待バス乗車証の発行、町営バスの運行等、高齢者が多い本町の住民の移動手段を確保しているものの、財政負担の増加が課題となっている。	住民の移動手段の確保はもとより、自治体の財政負担も考慮したうえで、良い方策を検討していただきたい。
平生町	利用者数の減少や交通事業者の担い手不足による公共交通の衰退が懸念されているとともに、地域住民の移動手段の確保に取り組む上で、自治体の財政負担の増加が課題となっている。	公共交通の維持・確保に際し、自治体の財政負担が少なくなる方法や新たな取組などを検討していただきたい。
川本町	交通事業者の担い手不足による公共交通の衰退が大いに懸念されている。	交通事業者へ興味を持つ人が増えるような情報発信等の取組を検討していただきたい。
邑南町	旧三江線沿線地域である羽須美地域ではすみデマンドを運行しているが、将来的な担い手が不足する懸念がある。	ドライバーの安定的な確保など、デマンド運行には課題がある。デマンド運行を今後も継続するために、学生ならではのアイデアを提案していただきたい。